

一般公開されているバイカオウレンの群生地をご紹介します！



せいおの山のバイカオウレン

個人の方が私有地を20年以上の歳月をかけ、コツコツと整備されてきた群生地です。多くの方に自由に見学してほしいとのことで、花畑踏切近くにはお手製の看板が建てられています。また新たに、まちまるごと植物園のサポーターにも参加していただきましたので、まちまるごと植物園ホームページもぜひご覧ください。



2月21日「まちまるごと植物園 ミステリーツアー バイカオウレン編」が開催されました。これは町内にあるバイカオウレンのスポットを巡るもので、普段一般公開されていない自生地や、地域の方や個人が管理している群生地など、さまざまなスポットを楽しんでいただくといった企画です。近年は、牧野富太郎博士がこよなく愛した花としてバイカオウレンの人气が非常に高く、県内外から大勢の観光客が訪れています。「旧浜口家住宅」「まきのさんの道の駅・佐川」「集落活動センター加茂の里」「西山地区」での苗の販売も好評で売り切れとなることも珍しくありません。また苗は佐川町のふるさと納税の返礼品としても扱われています。次のページでは、佐川町の新しい魅力となったバイカオウレンについての取り組みをご紹介します。



「まちまるごと植物園」とは、植物分類学者・牧野富太郎博士のふるさと佐川町で、町民が行っている植物に関わる活動を町全体で植物園に見立てて、植物を通じて人々がつながりあう「植物のまち」を目指した取り組みです。

広報さかわ

4月号

令和8年4月1日発行

今月の表紙



ミステリーツアーも今回で第4弾！今回はバイカオウレンということで多くの方が参加されました。

加茂地区のバイカオウレン

古くから知られていた清宝山のふもとにあるバイカオウレンの自生地を、地域の人たちが毎月1回5人～10人参加し、約25年以上かけ保全活動を続けています。現在では数十万株の花が咲くそうで、多くの方が見学に訪れています。また集落活動センター加茂の里では毎年バイカオウレンまつりが開催されています。



牧野公園のバイカオウレン

平成26年からの牧野公園リニューアル事業の中で誕生した群生地。みんなで育てる公園として「牧野公園はなもりC-LOVE」のみなさんが中心となって大切に育てています。群生地は牧野富太郎博士の墓所の近くにあり、大きく分けて奥の段、中段、下の段と3つ。今でも少しずつ群生地を広げていきます。



西山地区のバイカオウレン

15年ほど前、一組の夫婦が裏山に手をかけ始めたのをきっかけに、地域の方が集まり整備されてきた群生地。3年前に「西山花守交遊会」が結成され日本一のバイカオウレン群生地をめざしています。その広さはなんと1ヘクタール。山の中には遊歩道が整備されバイカオウレン以外にもツチトリモチなどの植物を楽しむことができま



PICK UP CONTENTS

バイカオウレンでの取り組み	2
令和8年度当初予算	4
高北国保病院	9
かわせみからのおしらせ	10
おしらせ	14
ボタニカルニュース	24
さかわ観光協会	25
地質館だより - 桜座 Information	28
青山文庫だより	29
佐川町立図書館さくと	30
さかわ学校だより - 斗賀野小学校	31